

ちゅうりっぷだより



令和5年1月19日
川口市立舟戸幼稚園
年少ちゅうりっぷ組

新しい年を迎えました。夢と希望に向けて今年も取り組んでいきたいと思います。3学期は、友達との関わりが深まり、幼稚園生活が充実する時期です。子供たちがさらに楽しく園生活を送り、年中組への進級に期待がもてるように一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。今学期も保護者の皆様には、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

着れたよ！

3学期からちゅうりっぷ組も園服の着用が始まりました。「舟戸幼稚園のお洋服素敵だね」と声をかけると、「うん。ひまわりバッチもついてるよ」と嬉しそうに見せてくれます。園服に腕を通したり、ボタンを留めたり、裏返った袖を直したりすることは、子供たちにとっては難しい作業となりますが、「先生、見てね」「着れたよ」と自分で頑張ろうという気持ちをもって取り組んでいます。また、朝のお仕度や帰り支度、片付けなども自分から取り組むようになり、「自分でやった」「できた」という自信がつくようになってきました。今後も励ましたり、見守ったりしながら「自分でできた」という満足感を味わい、それが自信へとつながるように援助していきたいと思います。ご家庭でも子供たちが頑張る姿を焦らずゆっくりと応援してあげてください。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『健康な心と体』『自立心』『社会生活との関わり』につながる姿が見られます。



凧あがれ！

凧あげ、こま、絵カードあそび、福笑いなどのお正月遊びに興味をもって遊んでほしいと願い、環境を準備したところ、「面白そう」「私もやりたい」と興味をもって遊ぶ姿が見られるようになりました。凧づくりでは、「顔を描けるようになったよ」「見て、可愛いでしょ」と描くことを好み、そこからスーパー袋にもマジックで絵を描き、教師と一緒にたこ糸をつけてつくりました。つくり終わると、自分でピンク帽子をかぶり、「凧あげ行ってきます」とやる気満々な様子で凧あげに挑戦しました。「私初めて凧あげする」「楽しみ」と、自分がつくった凧を持って友達と一緒に「よーいドン！」で走ることを楽しんでいます。「見てて。あがった？」「あがったよ」「私もつくりたい」「僕もつくりたい」とビニールの凧や紙の凧をつくり凧あげを楽しみました。この時期ならではの遊びを通して、いろいろな遊びへの興味を育てていきたいと思います。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『健康な心と体』『協同性』『社会生活との関わり』『思考力の芽生え』『言葉による伝え合い』につながる姿が見られます。

2月は次のようなねらいをもって進めていきます

- 遊びの中でイメージを膨らませ、いろいろな表現をすることを楽しむ。
- いろいろな遊びや活動に興味をもち、取り組んだり参加したりすることを楽しむ。
- 自然に親しみ、冬から春への自然の変化に興味をもつ。



☆雪が降った日には☆

手袋・防寒着(ジャンパーなど)・長靴を用意してください。また、雪遊びで濡れてしまうことも多いので、着替えも必ず用意しておいてください。